

25 年 4 月 30 日

プロジェクト報告書

団体名 在宅ホスピスケアボランティアさくら

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

講演会 人生の終わりをしなやかに IN 武蔵村山市

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可

団塊世代の高齢化により2030年には病床の不足により病床難民の増加が予想されます。厚労省はその解決の一つとして在宅での療養を推進していますが、そのためには在宅での医療、介護、ボランティアなどのチームケアの重要性が増すと思います。そのために、私たちは在宅での治療に必要な事前の学びを啓蒙します。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

武蔵村山市民を対象に在宅支援診療所の医師による講演会の実施

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

武蔵村山市社会福祉協議会の後援

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

台風の翌日のため市民参加の足が鈍る不安があったが事前の申し込みをした方は全員が参加し講演後の質疑応答も活発に行われました。

出席者 市民27名

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

武蔵村山市市民講座

後悔しない

最期の時の迎え方

講師 立川在宅ケアクリニック

井尾和雄先生

「幸せな最期」安らかに逝くために、今、知っておくこと、準備しておくこと。
これから40年 団塊世代を中心に6000万人以上の方が旅立ちます。
あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。
立川の地で在宅医療・在宅緩和ケアを始めて13年。がん、難病、寝たきりの患者さん2000人以上を在宅で看取ってきた経験のある医師が説く幸せな最期の迎え方を話します。

平成25年10月16日（水）14時～16時

会場 緑ヶ丘ふれあいセンター 多目的ホール

参加費 無料

定員60名

お申込み お問い合わせは

在宅ホスピスケア・ボランティアさくら（担当：岡田）

080-1163-5281

主催： 在宅ホスピスケア・ボランティアさくら

後援： 社会福祉法人 武蔵村山市社会福祉協議会

「Shinjo プロジェクト」市民活動公募助成事業